

シーン4

日頃からサポートに備えるチェックリスト ~いつでもサポートできるように日頃備えておくと安心です~

●預かるための準備

- 階段や段差がある場合、転落・転倒防止対策をしている。
- ベランダや窓のそばに、踏み台となるようなものは置いていない。
- ドアや家具の引き出しなど、指をはさまないような対策をしている。
- 暖房器具(ストーブ、こたつなど)でやけどをしないような対策をしている。
- ポットや炊飯器、トースター、鍋などは子どもの手の届かないところに置いている。
- 預かり中は、テーブルクロスの使用は控えている。
- 下記のものは、子どもの手が届かないところに置いている。
- ・たばこ ・薬 ・洗剤 ・化粧品 ・硬貨 ・貴重品 ・ピアスなどの小物 ・ボタン電池 ・マッチ
 - ・ライター ・ビニール袋やラップ ・あめ玉 ・ピーナッツ ・ハサミや包丁などの刃物 ・壊れやすい物
 - ・アイロン ・トイレトペーパーの芯(直径 3.9cm)を通るようなもの 等
- 机・食器棚などの家具の角やふちの鋭い部分には、できる範囲でカバーを付けるなど、ケガの予防をしている。
- 扇風機の羽に子どもが触れないような対策をしている。
- ブラインドのひもは子どもの手が届かない高さでくくっている。
- 浴槽や洗濯機・バケツなどに水が溜まっている場合は、子どもがその場所へひとりで入れないような対策をしている。
- ペット(犬・猫など)に別室にいてもらう、またはゲージに入ってもらするなど、万が一にもトラブルが起きないような工夫をしている。
- 部屋の換気を適切に行い温度・湿度を確認できるように温湿度計などを置いている。
- 預かり中に家事を行わなくてもよいように、あらかじめ準備しておく。

参考資料

乳幼児の不慮の事故を防ぐための5つのポイント

●窒息 ●誤飲 ●転落・転倒 ●おぼれ ●やけど



※相互援助活動の手引き 活動にあたって安全への対応> 参照



●送迎サポートのための準備

- 車で送迎をする場合、送迎に使用する車の車検有効期間と、任意保険の期限や内容を確認している。

※ファミサポ補償保険に、自動車保険は組み込まれていません。

自賠責保険の有効期限		
年	月	日

任意保険の満期日		
年	月	日

- チャイルドシート・ジュニアシートを持っている場合は、壊れないか点検している。

- 自転車で送迎をする場合、自転車損害賠償保険の期限や内容を確認している。

自転車保険の満期日		
年	月	日

- 自転車用のチャイルドシートや子ども用のヘルメットを持っている場合は、壊れないか点検している。

※自転車では、6歳以上の子どもを乗せて送迎できません。

●乳児(おおむね0～2歳)の預かりの注意点

- 子どもを強く揺さぶったり、腕や足を強く引っ張らない。

- 子どもを抱いている時は、熱い物の飲食は控える。

- 子どもを寝かせる時は、固めの敷布団を準備する。

※ぬいぐるみやタオルなど、子どもの口や鼻をふさぐものは置かないようにしましょう。

- 医師の診断があるなど特別な理由がない限り、寝かせる時は仰向けに寝かせ、うつぶせ寝は避ける。

- ソファやベッドなどの高い所に寝かせた時は、転落防止策を取り、目を離さない。

- 子どもが寝たら、呼吸・顔色・寝方・嘔吐していないかをチェックする。(3～5分おき)

- 作り置いたミルクや、飲み残したミルクを後から飲ませない。

- おもちゃは誤飲しない大きさで、壊れないか点検している。トイレトペーパーの芯(直径3.9cm)を通るような大きさのものは使用しない。

- ミニトマトやブドウ位の大きさの食べ物は、誤飲しないよう小さく切る。